

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公表番号】特表2005-524273(P2005-524273A)

【公表日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2005-031

【出願番号】特願2004-500406(P2004-500406)

【国際特許分類】

H 04 B 1/18 (2006.01)

H 03 J 3/22 (2006.01)

【F I】

H 04 B 1/18 C

H 03 J 3/22

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月21日(2006.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

信号チャンネルにチューニングする方法であって、

(a) チューニングすべき信号チャンネルを選択するステップと、

(b) 電子的チューニング可能入力フィルタの中心周波数をチューニングすべき前記信号チャンネルの期待周波数に対応させる制御信号を信号チューナの前記電子的チューニング可能入力フィルタに印加することにより、前記選択された信号チャンネルにチューニングするステップと、

(c) 前記チューニングされた信号チャンネルの性能測定値をモニタするステップと、

(d) 前記電子的チューニング可能入力フィルタの周波数応答を変更するために前記制御信号を調整するステップと、

(e) 前記調整された制御信号を前記電子的チューニング可能入力フィルタに印加することにより前記選択された信号チャンネルを再チューニングするステップと、

(f) 前記電子的チューニング可能入力フィルタが受信された前記選択された信号チャンネルの周波数に対応する中心周波数を持つパスバンド周波数応答を持つまで、ステップ(c)から(e)を繰り返すステップを有することを特徴とする方法。

【請求項2】

請求項1に記載の方法であって、前記制御信号は制御電圧を有し、

(g) 前記選択された信号チャンネルが後でチューニングされるたびに、前記電子的チューニング可能入力フィルタに印加するために調整された制御電圧を記憶するステップをさらに含むことを特徴とする方法。

【請求項3】

請求項1に記載の方法であって、前記チューニングされた信号チャンネルの性能測定値をモニタするステップは、前記チューニングされたチャンネルのパラメータを測定するステップを含むことを特徴とする方法。

【請求項4】

請求項3に記載の方法であって、前記信号チャンネルはテレビチャンネルを有し、前記チューニングされたテレビチャンネルのパラメータを測定するステップは、アナログテレ

ビチャンネルの場合はA G Cを測定し、デジタルテレビチャンネルの場合は信号品質および／またはA G Cを測定するステップを含むことを特徴とする方法。